

茨城県建設未来協議会と意見交換会を行いました。

◆日時 平成30年10月2日(火) 15:30~17:15

◆場所 茨城県県南生涯学習センター

◆参加者 建設未来協議会 小林会長など12名
北首都国道事務所 山田所長など 4名
常総国道事務所 近藤所長など 8名

挨拶

冒頭、小林会長から「生産性の向上や担い手の確保など、建設業を取り巻く課題が多くある」、山田所長は「将来の担い手に夢のある業界である事が必要」とそれぞれ挨拶がありました。

議事内容

会議は、双方の事業概要や最近の話題についての情報提供から始まり、意見交換会では、各現場において提出する書類内容の統一化や、総合評価における具体的な疑問点などについて、活発な質疑応答がありました。

また、「圏央道の今後の4車線化事業の概要について」の問いには、平成30年度からは、財政投融資を活用して、暫定2車線区間の久喜白岡JCT~大栄JCT間の4車線化がNEXCO東日本において事業着手したので、国としても「地元企業に配慮しながら、事業推進に向け必要な協力をしていく」と報告がありました。



[小林会長 挨拶]

※茨城県建設未来協議会とは

(一社)茨城県建設業協会の会員企業のうち、次世代を担う若手役員など幹部で構成され、魅力ある建設業の創造と地域の発展に寄与することを目的とした協議会です。